

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援さくらんぼ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年2月10日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別に支援する技術がある。	法人内のこども園の職員と日々子どもの状態について情報交換を行っている。また、合同で研修を行い、質の向上に努めている。	室の伴った職員を採用し、業務に支障がないように交替で研修に参加できるようにしたい。
2	保護者の協力が得られる。	子どもの発達の為に事業所が提供できることをその都度半すようになっている。	集まりをする機会を増やしていきたい。
3	環境が構造化されていること。	子どもの導線が混乱しないように、整理整頓をしている。	できるだけ刺激を遮断できる空間を創出したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外遊びをするための設備不足	施設建設当初に想定していない年齢のお子さんが、利用してくれるようになった。	安全確保のための、資金をかけない方法を検討中
2	地域交流の不足	隣地にあるこども園との連携がある。特性として、刺激がない方を好むお子さんもいる。	特性と環境を見極めながら、取り組みを検討したい。
3			